



# デッキブラケットキット

Groundsmaster® 3200 および 3300 シリーズトラクションユニット

モデル番号 147-0090

取り付け要領

## 取り付け

### 付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	—	マシンの準備を行う。
2	ショルダボルト ロックナット	2 2	デッキチャンネル材を取り付ける準備を行います。
3	六角ヘッドフランジボルト フランジナット デッキチャンネル部材 六角ヘッドボルト ワッシャ	4 4 2 2 2	デッキチャンネル部材を取り付けます。



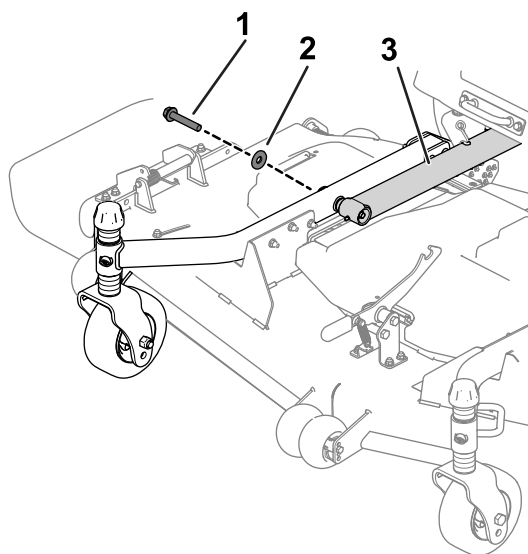
# 1

## マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

### 手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. アタッチメントを降下させる。
4. エンジンを止め、キーを抜き取る。



g444222

図 1

図は右側昇降アーム

1. ボルト
2. ワッシャ
3. 右昇降アーム

# 2

## デッキチャネル材を取り付ける準備を行う

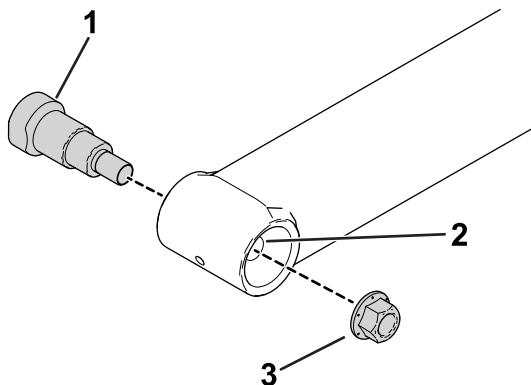
この作業に必要なパーツ

2	ショルダボルト
2	ロックナット

### 手順

以下の作業を両方の昇降アームに対して行う。

1. デッキを昇降アームに固定している既存の六角ヘッドボルトとワッシャを外す 図 1。



g447389

図 2

1. ショルダボルト
2. 球面ベアリング
3. ロックナット

4. 昇降アームに新しいショルダボルトとロックナットを取り付ける 図 2。
5. ロックナットを 114 135 N·m 11.6-13.8 kg.m = 84 100 ft-lb にトルク締めする。

**重要** ロックナットはゆっくりと締めつけて、ショルダボルトを球面ベアリングに引き込んでください。ショルダボルトのねじ山を傷つけないように注意してください。

6. デッキのハブの表面がきれいであることを確認する。汚れや溶接カスなどをきれいに除去するもと。

# 3

## デッキチャンネル部材を取り付ける

### この作業に必要なパーツ

4	六角ヘッドフランジボルト
4	フランジナット
2	デッキチャンネル部材
2	六角ヘッドボルト
2	ワッシャ

### 手順

以下の作業を両方の昇降アームに対して行う。

1. デッキチャンネル部材をデッキチューブまでスライドさせ [図 3](#)、クランプを使ってチャンネル部材をチューブに固定する。

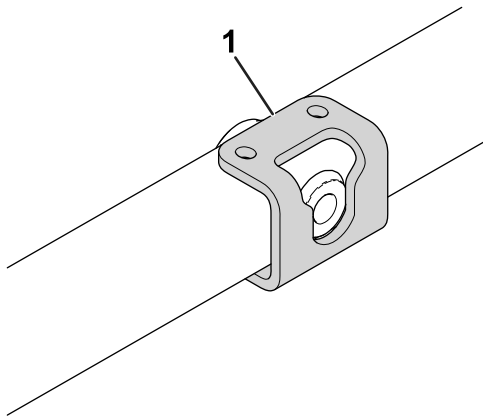


図 3

g444223

1. デッキチャンネル部材

2. 昇降アームを降下させて昇降アームのハブをデッキチャンネル部材に合わせる。
3. サドルとハブをセンターに合わせて、六角ヘッドボルトとワッシャで仮止めする [図 4](#)。

**重要**ワッシャの「カップ」が昇降アームを向くように取り付けてください。ボルトはまだ本締めしないでください。

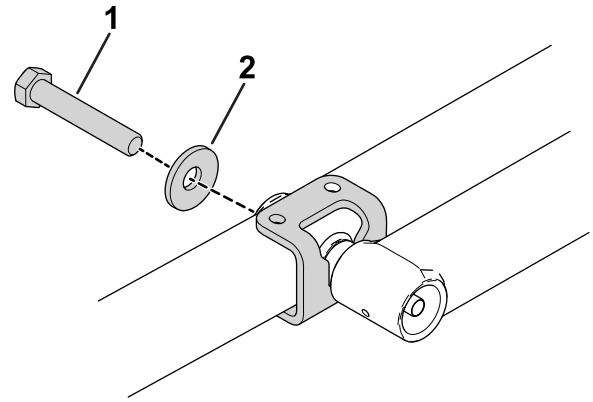


図 4

g444224

1. 既存の大きなボルト
2. ワッシャ

4. デッキチューブにボルト用の穴 2 か所をマーキングし、ドリル 11/32" で穴を開ける。チューブのボルト側のみ貫通させる [図 5](#)。

### 警告

ドリルを使うときに保護めがねなどを使用しないと金属粉が目に入る恐れがある。

ドリル使用時は必ず保護めがねを着用すること。

**重要**デッキチューブだけに穴を開けるように注意深く作業してください。

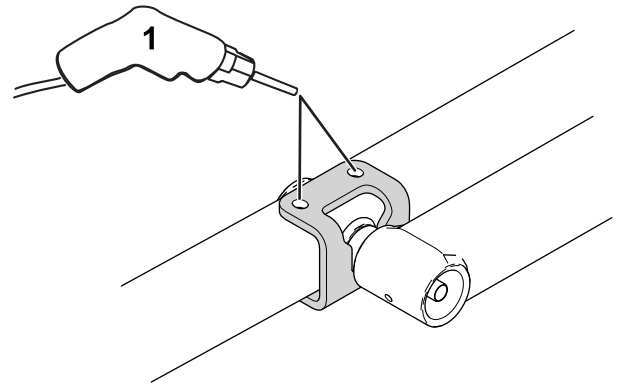
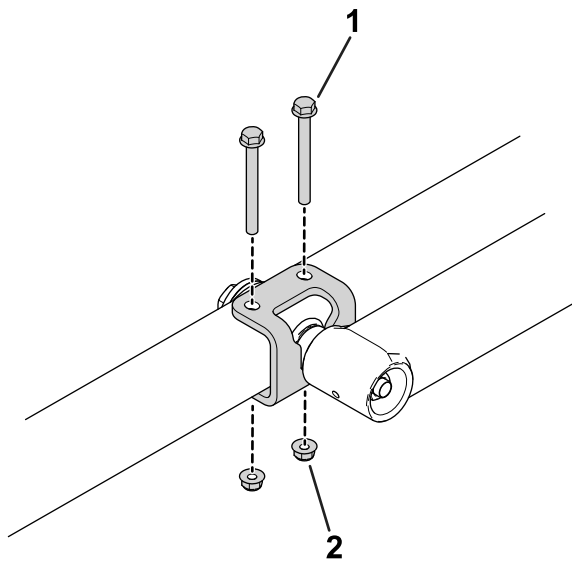


図 5

g444225

1. デッキチューブに穴を開ける。

5. 六角フランジボルトとフランジナットで、デッキチャンネルをデッキチューブに固定する [図 6](#)。



g444226

図 6

1. 六角ヘッドフランジボルト    2. フランジナット

- 
6. 六角ヘッドボルト 図 4 を  $271 \text{ N}\cdot\text{m}$   $27.6 \text{ kg}\cdot\text{m} = 200 \text{ ft}\cdot\text{lb}$  にトルク締めする。

注 ショルダボルトは回転できないハブがデッキチャネルに押さえられているので、バックアップレンチを使う必要はありません。